

淀川水系流域委員会 第 69 回運営会議 (2006. 4. 24 開催) 結果報告		2006. 5. 1 庶務発信
開催日時	2006 年 4 月 24 日 (月) 12 : 30 ~ 13 : 20	
場 所	みやこメッセ B 1 会議室	
参加者数	運営会議委員 8 名 (委員長、各部長、WG リーダー)、河川管理者 3 名	
<p>1. 検討内容および決定事項</p> <p>①委員の異動について</p> <p>河川管理者より 4 月 19 日に発令した、嘉田委員の委員離任辞令についての報告、委員長より村上興正委員の住民参加部会から利水・水需要管理部会への変更要請についての報告がされ、後者については同席した両部会長より了承された。次回部会より変更する。</p> <p>②第 50 回委員会の進め方について</p> <p>本日、13 : 30 より開催する第 50 回委員会の進め方について以下のように決定された。</p> <p>○審議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1)ダム等の管理に係わるフォローアップについて」および「2)河川整備計画基礎案に係わる具体的な整備内容シート」「3)琵琶湖水位操作の試行とその結果についての説明と質疑」については河川管理者から説明。 ○「一般からの意見聴取の方法についての意見交換」について ・「一般傍聴者からの意見聴取についての意見交換」は、委員長が司会をし、住民参加部会三田村部会長より本日議案の趣旨を説明して、傍聴者から意見をいただく。 ・また、アンケート調査結果も踏まえ、次回運営会議において決定し、第 51 回委員会で決定事項を諮り、了承を受けた場合は、当日の委員会より実施することとする。 ・今後、一般傍聴者からの意見に対しては、傍聴者に対する傍聴者の反対意見も聞くような形にする。 <p>③その他</p> <p>○会議名称の変更について</p> <p>会議名称について勉強会は言葉の印象と内容が相違しているため、「意見交換会」と改めることが決定された。これについての意見は以下のとおり (例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会という名称の方がいいのか？ →第 2 次委員会が発足した時にのみこれまでは使っていたので今年度は該当する会議はないだろう。 ・自主的検討会や情報交換会がいいのではないか。 <p>○委員より河川管理者へ直接依頼する資料の取り扱いについて</p> <p>委員が直接河川管理者への資料提供依頼をし、それについてどう取り扱うかについて、「委員は資料提供を直接河川管理者へ依頼した際、庶務に連絡し、庶務は 2 部提供を受け、依頼者に提供し、1 部は保存する。提供申請は記録し、委員会毎にまとめて公表」することとする。</p> <p>④今後の予定について</p> <p>次回第 70 回運営会議は、5 月 17 日 (水) 17 : 00 ~ 19 : 00 から開催するものとする。</p>		
以上		

※結果報告は主な決定事項等の会議結果を迅速にお知らせするために庶務から発信させていただくものです。